

# Jメッシュ 忍び付門扉 SE-J-1G型

# 組立説明書

●フェンスのタイプで開閉角度が異なります。

	開閉角度
SE-J-1G型 内忍び 外開き	160° 程度
SE-J-1G型 内忍び 内開き	105° 程度
SE-J-1G型 外忍び 外開き	100° 程度
SE-J-1G型 外忍び 内開き	180° 程度

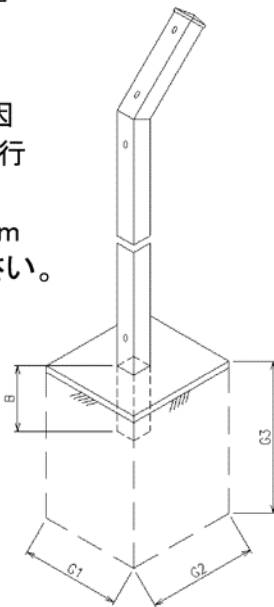
## ①柱の位置を決め、基礎を設置します。

注) 根固めが不十分だと、門柱が傾く原因になるため、根固め(転圧)は十分に行ってください。

●門柱間隔は、柱芯々片開き1040mm / 両開き2000mmピッチにしてください。

●基礎寸法及び埋め込み深さ

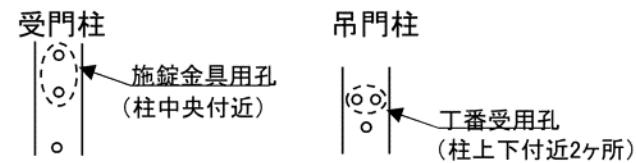
型式	寸法	基礎寸法 G1×G2×G3(mm)	埋込寸法 B(mm)
SE-J-1G型 H1800 内忍び		400×400×700	300
SE-J-1G型 H1800 外忍び		400×400×700	300
SE-J-1G型 H2000 内忍び		500×500×700	300
SE-J-1G型 H2000 外忍び		500×500×700	300



## ②柱を建てます。

片開きの場合、吊側と受側の門柱は異なりますので注意してください。

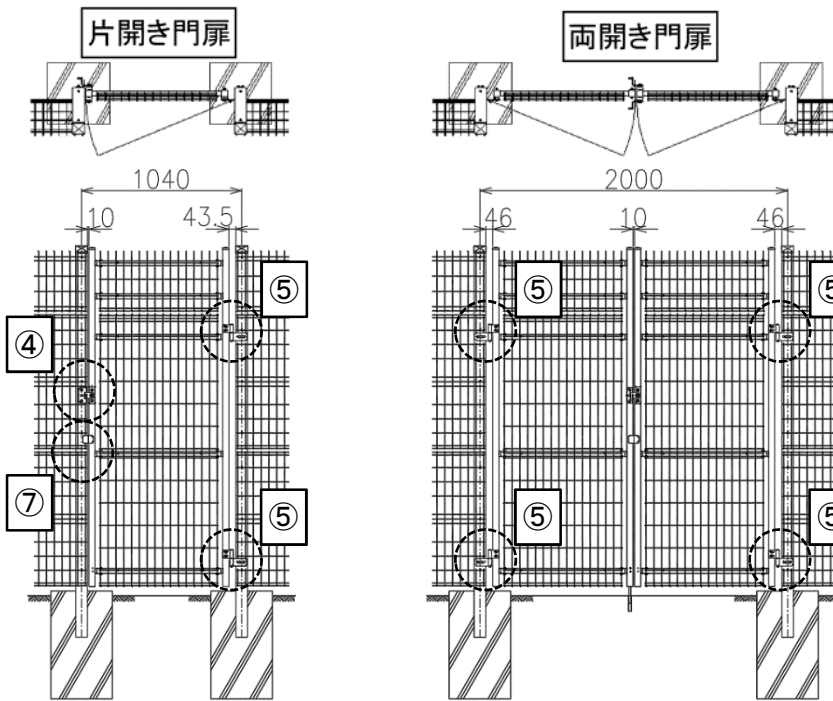
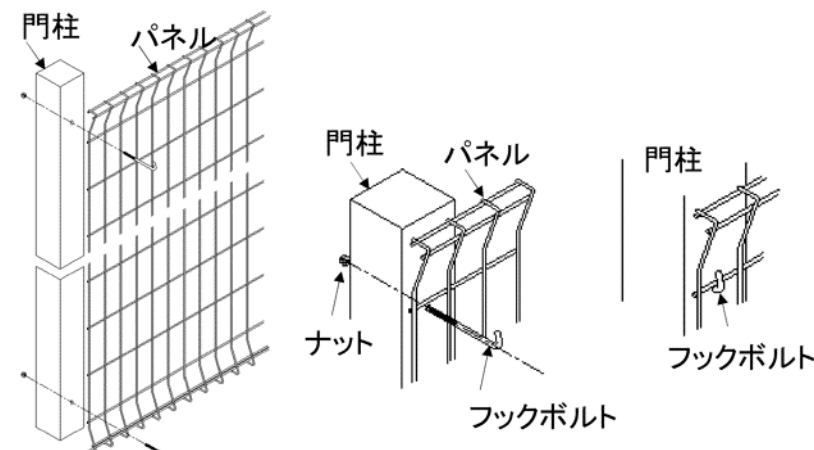
両開きの場合、吊門柱(2本)のみになります。



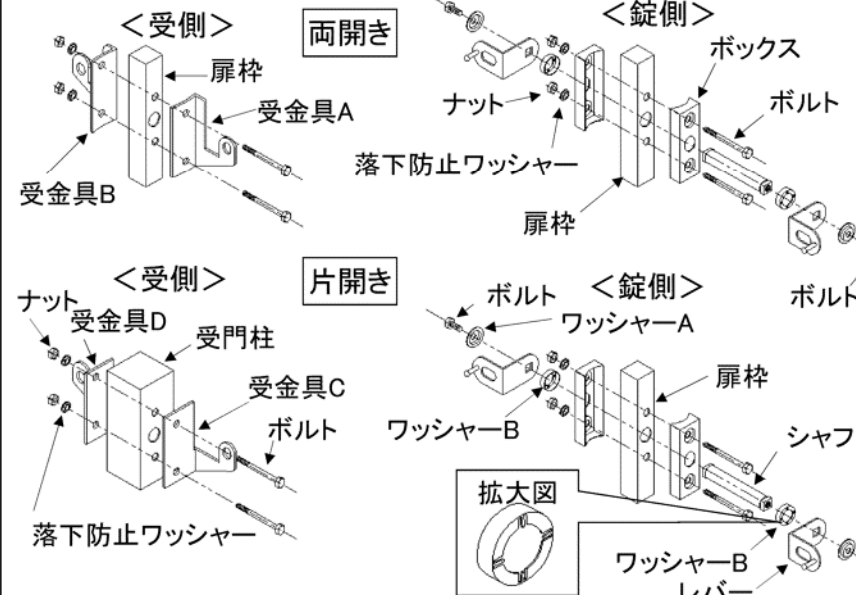
## ③パネルを取付けます。(兼用門柱の場合)

フックボルトを横線に掛けて柱に通し、ナットで締めてください。門柱からパネルの横線が出ないようにしてください。

注) インパクトレンチ等で施工する場合は、ナットの締め過ぎに注意してください。締め過ぎますと、フックボルトが変形し、パネルの横線から外れる場合があります。

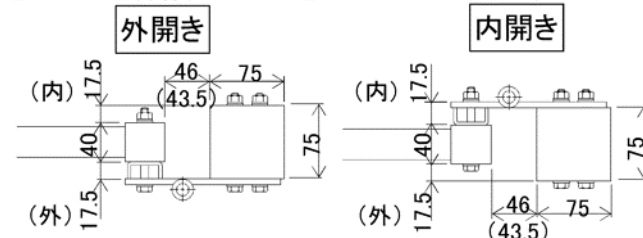


## ④施錠金具を取付けます。

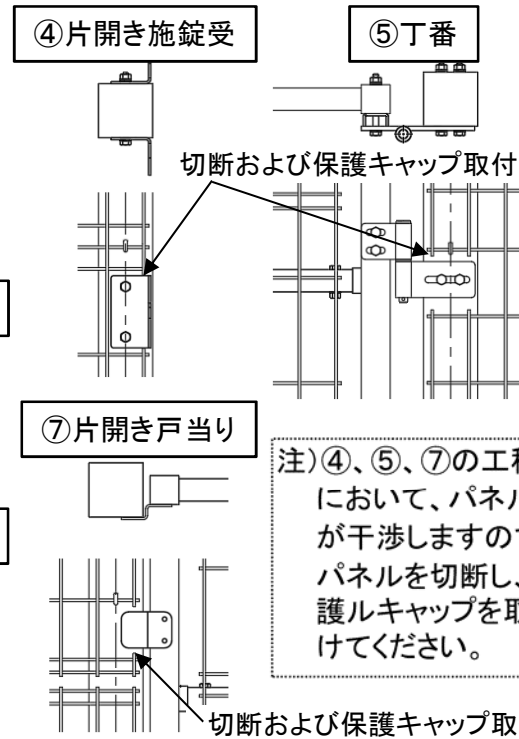


## ⑤丁番を取付けます。

門扉の開閉方向(外開き、内開き)を決め、丁番を取付けます。  
注) 吊門柱側丁番を取付の際、パネルが干渉しますので、パネルを切断し、保護キャップを取付けてください。

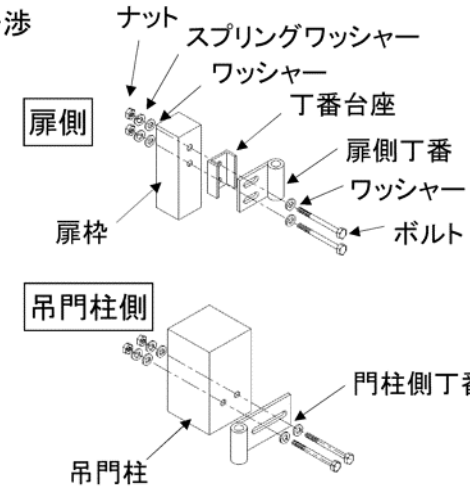


注) 上図は、両開きを示し、( )内寸法は、片開きを表します。

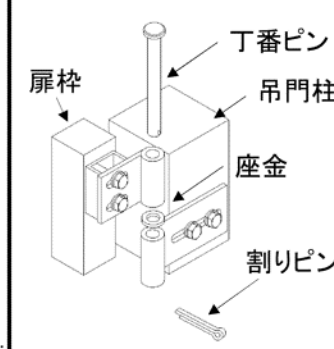


1. ボックスを仮止めします。
2. シャフトの一方にワッシャーB、レバー、ワッシャーAを入れて、レバー取付ボルトを仮締めします。
3. ボックス・門扉枠にシャフトを通します。
4. シャフトの残った側は前2項と同様にワッシャーB、レバー、ワッシャーAを入れてレバー取付ボルトを仮締めします。
5. ボックス取付ボルトを本締めします。
6. レバー取付ボルトの締め付け程度によってレバー回転状態、回転の固さを調整します。

※ボックス取付ボルトおよび受金取付ボルトの締め付けの際は、ナット側にボルト落下防止ワッシャーを必ず入れてください。



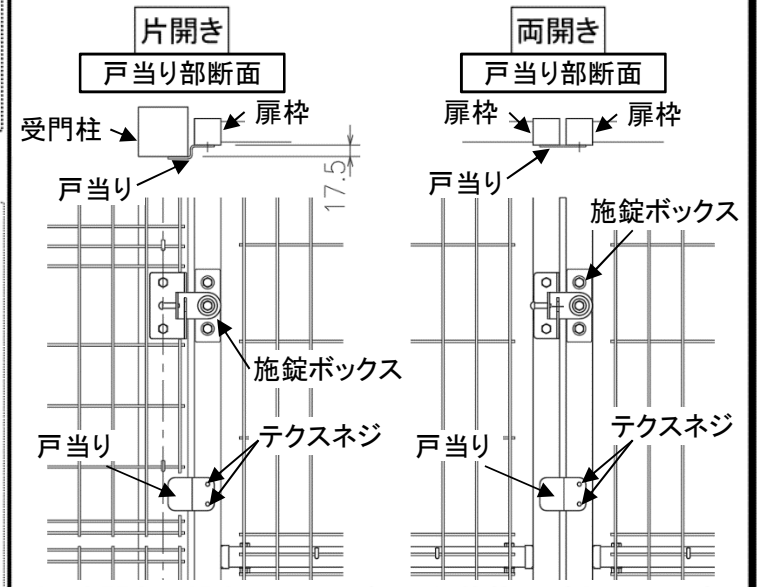
## ⑥扉を門柱に取付けます。



・丁番(柱用)と丁番(扉用)の間に座金を挟み丁番ピンを上から差込んでください。差込み後に、丁番ピンの孔に割リピンを差込みます。  
・扉を閉めた際、受門柱又は受側の扉と接触又は離れ過ぎている場合は、門柱の丁番ボルトを緩めて左右に位置調整を行ってください。

## ⑦戸当りを取付けます。

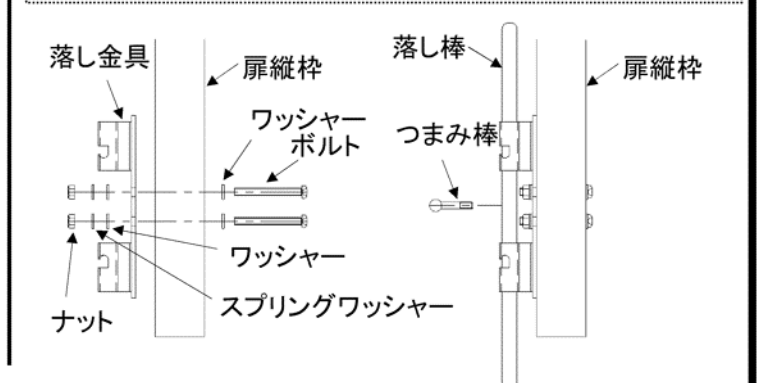
戸当りを施錠用ボックスの下にテクスネジで取付けます。



注) 片開きの場合、戸当りが閉じた状態でパネルに干渉しますので、パネルを切断し、保護キャップを取付けてください。

## ⑧落しを取付けます。(両開きの場合)

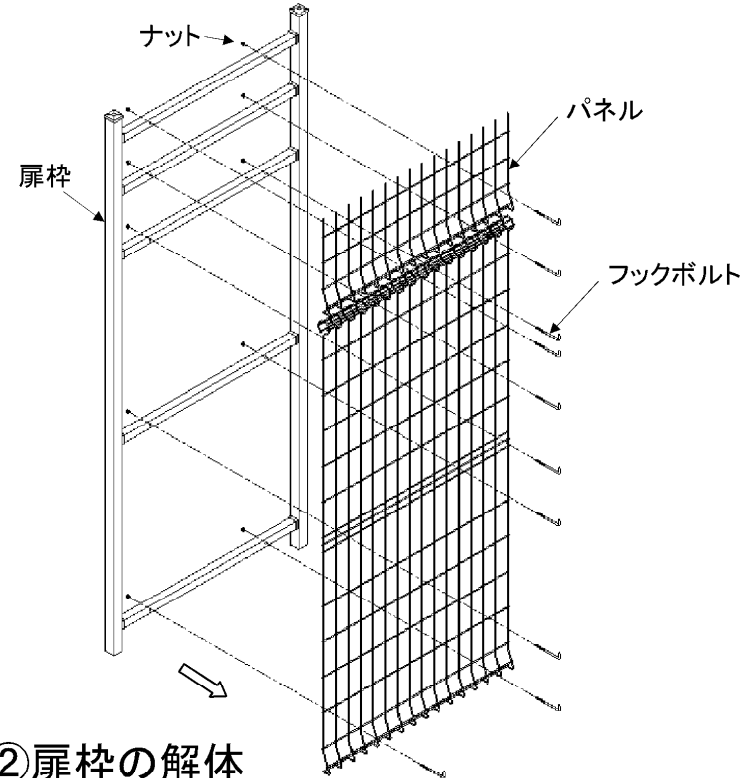
- ・施錠用の受金具を取付けた扉縦枠に落とし金具取付ボルト・ナットで、落とし金具を取付けてください。
- ・落とし棒を落とし金具に差込み、つまみ棒を取付けてください。
- ・落とし棒受は、落とし棒の位置に合わせて地面に埋めてください。
- ・施錠ボックスを取付けた扉縦枠の孔は使用しません。
- ・片開き、両開き共、樹脂キャップで孔を塞いでください。



●現地幅詰めの方法

①パネルの取外し

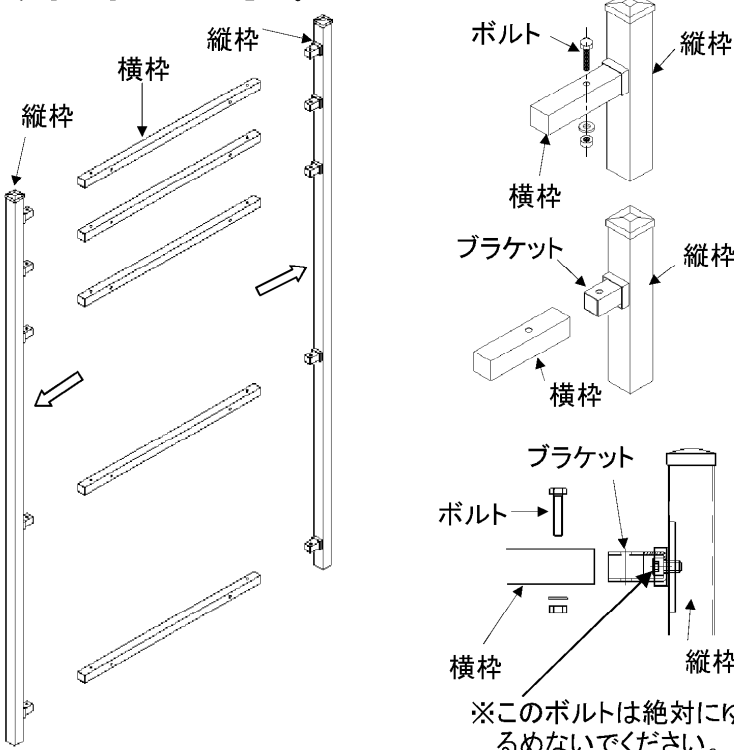
・パネル取付用のフックボルトをゆるめてパネルを外します。



②扉枠の解体

・横枠(□31)を取付けているボルト・ナット(8×38)をゆるめて両側の縦枠(□40)を外します。

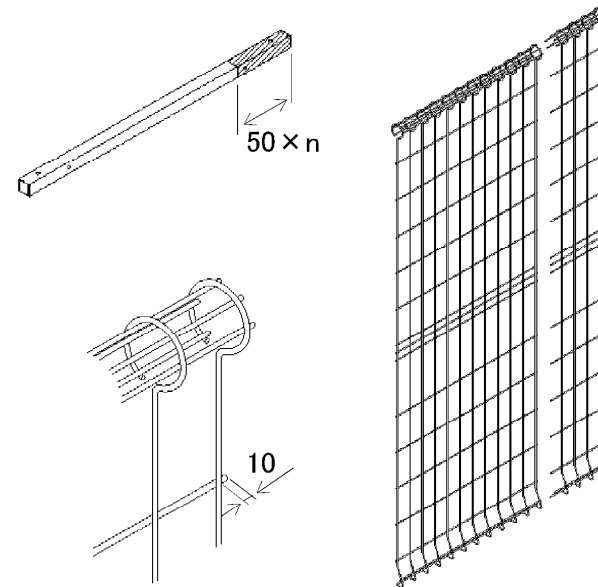
注) 縦枠(□40)とブラケットを取付けているボルトは、絶対にゆるめないでください。



③パネル及び横枠の切断

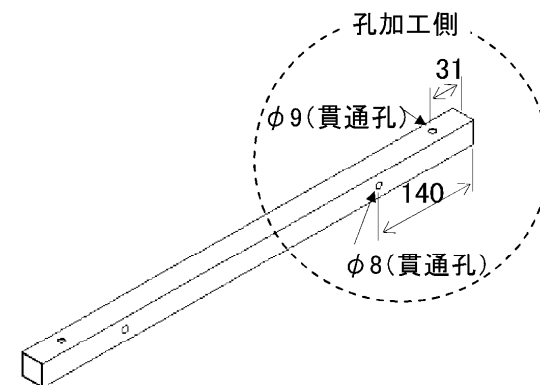
- ・横枠(□31)を高速カッター等で切断します。切断寸法はパネル縦線1目(50mm)の倍数で切断してください。
- ・パネルの横線は10~15mm程度残して、切断してください。
- ・切断したところは、タッチアップペイントで補修してください。
- ・切断した横線端部に保護キャップを取付けます。切断時のバリは危険ですので、必ずバリを取り除いてから保護キャップを取付けてください。

注) 横線端部の張り出しが10mm以下になると、保護キャップが抜けやすくなります。



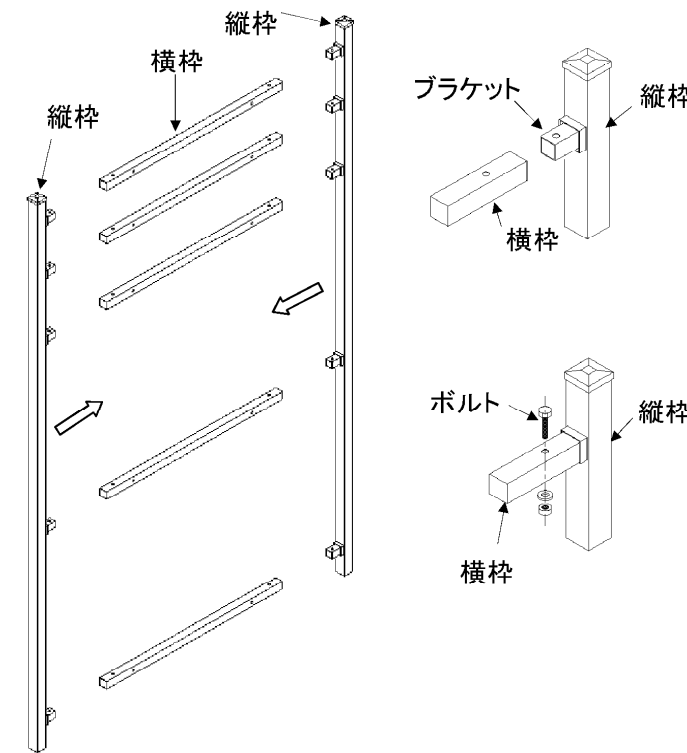
④横枠の孔明け

- ・横枠(□31)にボルト孔(貫通孔)をあけます。横枠取付用孔は端部から31mmの位置にφ9mmです。パネル取付用孔は端部から140mmの位置にφ8mmです。



⑤扉枠の組立

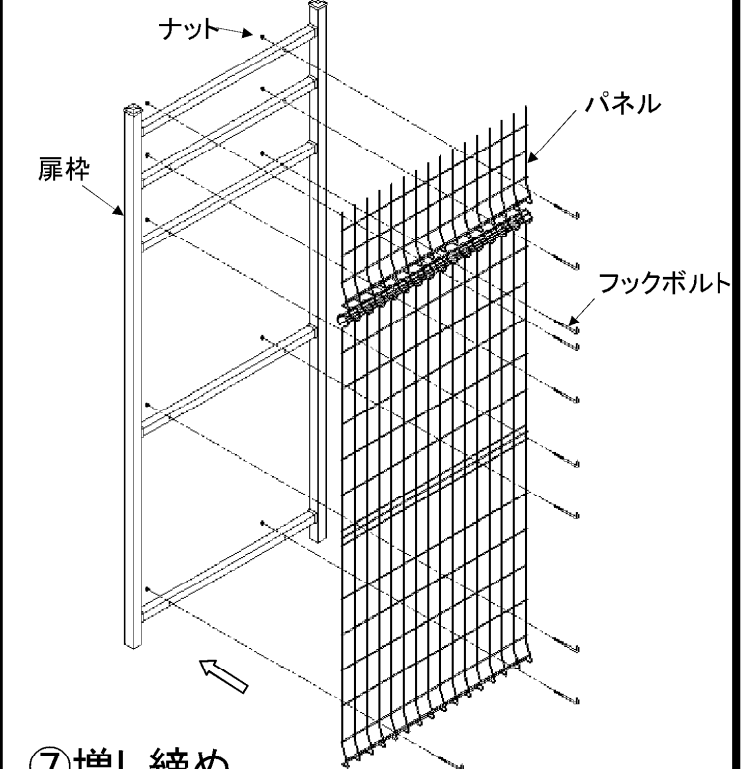
- ・縦枠(□40)のブラケットに横枠(□31)を入れ、②で外したボルト・ナット(8×38)で取付けます。



⑥パネルの取付け

- ・扉枠に①で外したフックボルトでパネルを取付けます。

注) フックボルトであまり強く締め過ぎますとパネルが変形する恐れがありますので、ご注意ください。



⑦増し締め

- ・⑤で組立したボルト・ナット(8×38)を増し締めします。

注) 扉の変形を防ぐために、ボルト・ナット(8×38)は必ず強く増し締めしてください。

## 部品数量表

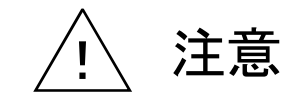
## Jメッシュ 忍び付門扉 SE-J-1G型

品名	寸法・記号	形状	数量	
			片開き	両開き
1 扉側丁番	69×50×6		2	4
2 門柱側丁番	110×50×6		2	4
3 丁番ピン	φ12×110		2	4
4 座金	φ21×12.3×3		2	4
5 割りピン	φ3×20		2	4
6 扉縦枠用丁番台座	50×35×3.2		2	4
7 吊門柱用丁番取付B.N(2W,1SW)	V8×95		4	8
8 扉縦枠用丁番取付B.N(2W,1SW)	V8×80		4	8
9 レバー	L68×55×3S		2	2
10 受金具A	L100×60AS		-	1
11 受金具B	L100×60BS		-	1
12 受金具C	L100×52CS		1	-
13 受金具D	L100×52DS		1	-
14 シャフト	φ18×106		1	1
15 ボックス	110×38×21S		2	2
16 ワッシャーA	φ30×9×3S		2	2
17 ワッシャーB	φ27×14×7S		2	2
18 ボックス取付B.N	M8×80S		2	2
19 受金取付B.N	M8×95S		2	-
20 受金取付B.N	M8×60S		-	2
21 落下防止ワッシャー	φ17×1.8		4	4

門扉部品

品名	寸法・記号	形状	数量	
			片開き	両開き
22 レバー取付ボルト	M8×15S		2	2
23 戸当り	70×50×21×3		1	-
24 戸当り	70×50		-	1
25 テクスネジ	+6×19		2	2
26 落とし金具	30×30×150		-	1
27 落とし棒(つまみ棒含む)	12×300		-	1
28 落とし金具取付B.N(2W,1SW)	+6×55		-	2
29 落とし受け	φ19.1×100		-	1
30 フックボルト(門柱用)	6×87S		16	16
31 樹脂キャップ	φ8用		3袋 12個入り	3袋 12個入り
32 保護キャップ	3.5×10		2袋 25個入り	3袋 25個入り

門扉部品



注意

## ●施工注意点

- ①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。
- ②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。
- ③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。
- ④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。
- ⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

## ●取扱い注意点

- ①門扉施工完了後、工事店の方がお渡しする「使用上のご注意」に記載された事項を使用者に徹底するようお願いいたします。

JFE 建材 株式会社